



# 薬師寺小だより

平成28年11月  
下野市立  
薬師寺小学校長  
鈴木一恵

薬小っ子スタンダード  
当たり前のことを  
当たり前に行える子に



くつ揃え  
家族のお手伝い  
やさしく



家族との会話  
親子読書  
かしこく



家族と一緒に  
正しい食習慣  
たくましく

## ほっこりとした 薬小祭の1日



11月3日(祝)に薬小祭が行われました。午前中はなかよし班の「ワイワイフェスティバル」、午後はPTAの皆さん主催の行事が行われました。地域の方々や小さいお子さんも来校し、心暖まる1日となりました。

午前中は児童自身が主体的に取り組みお客さんを喜ばせる活動、午後はPTAの皆さんが子供たちを楽しませてくださる時間と、子供たちにとって最高の1日となりました。

早朝からPTA本部役員さん手作りの綿あめの甘いにおいにお包まれ、PTA主催行事ではたくさんのお菓子やおもちゃまでご用意いただきました。お弁当の手配もお世話になりました。2校時の自由参観にもたくさんご参観いただき、子供たちの励みとなりました。

3年生はふるさと学習として「かんぴょう家族運営委員会」の方々にご協力いただき、本校に眠っていたふくべに絵付けをするという貴重な体験をすることができました。

### 【世界に1つだけの綿あめ】



PTA本部役員の方々、朝から綿あめ作りに取り組んでくださいました。綿あめは全児童、さらに未就学のお子さんにも手渡されましたので400個以上！お疲れ様でした。

### 【手作り作品バザー】



手作り作品によるバザーを出店してくださいました保護者の方から、児童の活動費にと、収益金1万5千円を頂戴しました。大切にさせていただきます。

## ワイワイフェスティバルの様子



23・24班魔法のじゅうたん



11・12班宝さがし



7・8班ワンバウンド的入れ



17・18班風船パレー



5・6班巨大神経衰弱



9・10班もぐらたたき



21・22班聖徳太子ゲーム



3・4班箱の中身当て



15・16班気だん投げ



13・14班魚釣り



1・2班新聞から「の」の字をさがせ



19・20班ロボットくずし

## 下野市児童表彰 銅メダル 市長さんから6年生へ



1月9日（水）市児童表彰が体育館で行われ、6年生一人一人に広瀬寿雄市長様から銅メダル、池澤勤教育長様から賞状が授与されました。表彰された6年生の姿は、とても凛々しく、誇らしく思いました。

今年行われたリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでは、銅メダルを獲得することがどんなに大変なことかを印象づけたシーンが数多くありました。本市出身の柔道家高藤選手もその一人です。

6年生もこれまでいろいろな場面で頑張ってきました。児童表彰はその証しに一人一人の良いところを認めていただくことができた記念すべき日です。



ずしりと手応えのある重さはこれから活躍する6年生への期待の重さ、描かれているデザインは地域の皆さんが支え、見守ってくださっていることを表現しています。デザイン

された宇賀地洋子先生の作品は本校玄関にも飾られています。（1996年卒業生一同寄贈）

最後に下野市歌を全員で合唱しました。完成してまだ間もないというのに、薬小の子供たちはすっかり覚えてしまいました。その清々しい歌声に下野市の明日への希望を感じました。ご来賓の方々も感激されていました。

是非お子さんから教えてもらってください。特に2番は薬師寺を思い起こさせる歌詞です。

♪♪ 歴史の息吹抱きしめて・・・  
花は夕顔 咲き香り・・・♪

### 6年生に感謝の心を込めて育てます



ミニストップ下野下古山店様のご厚意でパンジー等の花苗300本をいただきました。卒業式に向けて、1人1苗、2人組になって大切に育てていきます。

## 2年「いのちのおはなし」 私が生まれてきたわけは



『えがおのたまご』の皆さんによる「いのちのおはなし」の出前授業が2年生を対象に行われました。たくさんの人が自分の誕生を喜んでくれたことに気付いた時間でした。



赤ちゃんの時、命の道というものを通して生まれてきたことを知りました。赤ちゃんをだっこしたら可愛くて少し重かったです。

ぼくは生まれてきてよかったです。それは、兄弟や友達ができたからです。だからお母さんにありがとうっていいたいです。

せっかく生まれてきたのだから、命はだいじに使わないとなあと思いました。

命の学習を通して、自分の命の大切さと同時に、他の人の命の大切さにも気付き始めます。これから生きていく時間・・・それが命です。学校は社会生活の第一歩として、なかよし班をはじめ、登校班や清掃班等の異学年集団を編制し、お互いの存在の大切さを実感しながら生活できるようにしています。

また、学年に応じて福祉関係にも視野を広めさせています。様々な人々を理解する機会となるよう関連団体の出前授業を実施しています。例えば、4年生は移動福祉講座を開催し、高齢者の理解について学びました。さらに今年は、聴覚障害にも触れ手話体験を行います。5年生は認知症サポート講座を行いました。

目の前の人々が欲している助けを考えて手を差し伸べられる子に育てて欲しいと思います。

### 南河中3年生の歌声にうっとり

1日（火）南河中3年生との小中交流行事が行われました。中学生が素晴らしい合唱を披露しました。名刺交換というゲームも行いました。最後には小学生がお返しに「市歌」を歌いました。どちらの歌声も清らかで児童生徒の心そのものに感じました。

穏やかな中にも逞しさを感じる中学生との交流は、とてもほのぼのとした雰囲気、心に残るステキなひとときとなりました。



私は南河内合唱団に参加していますが、声が小さくなってしまいます。中学生を見習って自信をもって大きな声で歌えるように頑張ります。